

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ

<http://atsukokudomm.com/>

Vol.56

WINTER
2015



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

御翼の陰に

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子



私は御翼の陰に身を避けます。

(詩篇57篇1節より)

私の詩篇

2011年2月、スイスで受けた詩篇の学びを機に、「私の詩篇」として取り組み始めたのが57篇でした。その後、同篇の8節「私のたましいよ。目をさませ。十弦の琴よ。立琴よ。目をさませ。私は暁を呼びさませたい。」は、その年の秋にリリースしたCD「ほんとうの願い」のテーマとなりました。世界を震撼させた3.11大震災が起こった日本に、琴の音色に似た、今村泰典氏のテオルボに合わせて、神への賛美をもって、暁—暗黒の後に来る光—を呼び覚ましたい、と思ったからです。2012年の「ヨーロッパキリスト者の集い」(オランダ)とANRC大会(静岡県)での「被災地のためのコンサート」では、一節前半の「私をあわれんでください。神よ。私をあわれんでください。」がテーマとなりました。愛する祖国日本に神のあわれみを求めて、バッハ作曲「口短調ミサ」の「キリエ・エレイソン」(主よあわれみたまえ)を、聖歌隊の皆さんと声を合わせて神に向かって叫びました。

57篇から始まった詩篇の学びは、3年半がかりで、何とか1篇から150篇まで見終わりました。その間に気付かされたことは、詩篇をもって詩篇が理解できるようになって行ったことでした。また、同時期、時間をかけて通読していた旧約を通して詩篇理解を深め、また、逆に詩篇を通して聖書を理解するようにもなりました。ある日、旧約を土台として新約を理解するようになった自分に気付かされ、驚きました。それはみことばへの喜びの霊的開眼でもありました。振り返れば、そのきっかけは詩篇でした。聖書の心臓とも言える詩篇は、今に至るまで私の最も大切な書巻であり、詩篇の中でも特に57篇は「私の詩篇」、私の、心からの神への叫び、祈り、そして賛美です。

御翼の陰に

2014年は、57篇の1節の最後、「私は御翼の陰に身を避けます。」が、秋・冬のコンサートのテーマでした。昨年、ドイツは、国内にアメーバーのように広がる、ISIS(イスラム国)と直結したイスラム教過激派グループ「サラフィスト」の勢力に戦々恐々としていました。9月上旬「サラフィスト」の指導者が、私の住むハンブルクの駅前広場でヘイト・スピーチをした数日後、ドイツはついにISIS禁止命令を出しました。多くの人が、宗教戦争への宣戦布告と受け止めました。私の中にも、大きな緊張感が走りました。時が動き、暗闇の力が迫るのを感じたからです。同時に、このような時だからこそ、神の御翼の陰に逃げ込み、そこで守られなければならないこと、ここ以外には完全な守りはないこと、また、ここにとどまっていなければ、私たちは、伝道することも、敵と戦うことさえもできないことをお伝えしなければならないと思いました。

主のもうひとつの御名、インマヌエルは、「私たちと共におられる神」という意味です。イザヤ書8章8~10節には次のように書かれています。「『…インマヌエル。その広げた翼はあなたの国の幅いっぱい広がる。』国々の民よ。打ち破られて、わななけ。遠く離れたすべての国々よ。耳を傾けよ。腰に帯をして、わななけ。腰に帯をして、わななけ。はかりごとを立てよ。しかし、それは破られる。申し出をせよ。しかし、それは成らない。神が、私たちとともにおられるからだ。』

インマヌエルなる主こそ私たちと共におられる神であり、その御翼で私たちを覆ってくださいます。その前で、神に従わない国々の計画は、すべて打ち破られるのです。新しい年2015年、互いに励まし合い、イエス様の御翼の陰で守られながら、キリストのしもべ、兵士として立たせていただくようではありませんか。



被災地コンサートツアー

岩手県

10月29日～30日、3.11いわて教会ネットワークのスタッフである、ハープ奏者のキャサリンと、今年も岩手県の被災地沿岸(宮古、釜石、山田、大船渡)を回りました。2回のコンサート×3日、また、被災者との交わり、ボランティア・スタッフの皆さんとの交わりと、過密なスケジュールでしたが、主に力をいただきながら、感謝な奉仕をさせていただくことができました。仮設でのコンサートはこれで3回目でしたので、多くの皆さんが以前私のコンサートに来てくださったことのあるリピーターで、私の再訪を楽しみに待っていてくださいました。明日の希望が見えてきたので、今年は、皆さんの表情がとても明るくなっていました。

仮設の状況も変化してきています。今、復興住宅建設が進んでいますが、多くの人々が仮設を出たくないと言っています。仮設は無料ですが、復興住宅はお金がかかること、また、新しい人間関係を築くことに、大きな不安を覚えているようです。



大船渡の仮設で

「3.11いわて教会ネットワーク」の地道な救援活動の積み重ねによって、仮設の皆さんは、クリスチャンとキリスト教に心を開き、何の抵抗もなく聖書の話聞いてくださいます。ある仮設では、コンサート後、ひとりのご年配の女性がボランティア・スタッフと、目を輝かせながらキリスト教の話をしていました。3年前からダイレクトに信仰の話をしてきたYさん、Mさんにも再会しました。まだ決心には至っていませんが、求め続けておられます。3年前に信仰に入られたKさん、昨年洗礼を受けられたMさんにもお会いしました。岩手県の被災地には、スタッフの愛と涙と労苦によって、確実に福音の種が蒔かれています。

福島県

11月2日、昨年に引き続き、相馬キリスト福音教会にて賛美礼拝コンサートをさせていただきました。たった6人のご年配の婦人クリスチャンの皆さんが、多くの祈りを重ねて素晴らしい準備をしてくださりました。相馬市だけでなく、他の町や県から、合わせて60人以上の方々が駆けつけてくださいました。感謝なことに、コンサート後、何人かの方々が教会の礼拝に来られるようになったそうです。主がその方々を信仰に導いてくださいますように!

3日午後、いわきに向かう途中、ゴースタウン化した富岡町を見て回りました。家々は泥棒によって荒らされ、また、ねずみとイノブタの住処になっています。つい数か月前までは故郷に戻りたいと思っていた住民も、このような現状の家にはもう戻りたくない、他の地に住居を求め始めています。

同日夕方、いわき市の南に建てられた福島第一聖書バプテスト教会に到着。大熊町にあった福島第一聖書バプテスト教会の皆さんは、原発被災によって、流浪の生活を余儀なくされました。その後、世界中から献金が寄せられ、昨年、いわき市に新しい会堂が完成。通称『翼の教会』は、故郷、大熊町に向かって、翼を広げています。4日、午前10時半から行われたコンサートには、近隣の町々や東京からも駆けつけてくださり、会場は一杯になりました。この日は、特別な神のご臨在を感じました。終わってから、ひとりの女性が、「自分は、これまでいろいろな集会に参加したが、そのたびに落ち込むことが多かった。けれども、今日は本当に励まされた。『神への賛美』というものにこんなに力があるのなら、自分もこれから教会に集って、賛美したい。」と言ってこられました。その方が、一日も早くイエス・キリストを救い主として受け入れ、神の子とされて、心からの感謝と賛美を神にささげて欲しいと願っています。



このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター
テナント募集**

2F80坪 地下鉄北浜駅 ②号出口正面

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

産科・婦人科・小児科
医療法人社団クローリア会
月寒グロリアクリニック

院長 平島 功二
副院長 片桐 博

〒062-0053
札幌市豊平区月寒東3条16丁目3番8号
TEL.011-854-4103 FAX.011-854-4127

株式会社
富川グロリアホーム

「終の住みか」を備えるために
労れます。

〒055-0006
北海道沙流郡日高町富川南4-2-49
TEL.01456-3-4000

ミクニカイ株式会社
水とエネルギー

本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL.(06)6394-0671
FAX.(06)6394-0710
E-mail:sakamoto@mikunikikai.com
URL:http://www.mikunikikai.com

内科 小児科 **阿多医院**

院長 阿多 雄一

〒729-5731
広島県庄原市西城町西城63
TEL.0824-82-2619 FAX.0824-82-1155

心を尽くし・思いを尽くし・知性を尽くし
力を尽くして全人的に仕える医療と福祉
医療法人社団
湯川胃腸病院

●日本医療機能評価認定病院
●ISO9001-2008認定施設

〒543-0033
大阪市天王寺区堂ヶ芝2-10-2
TEL.06-6771-4861
http://yukawa.or.jp

キリスト教葬儀
K+art
ケアアート

☎0120-28-6642 (24時間対応)
http://www.k-art.co.jp

〒590-0984 大阪府堺市堺区新在家町東4丁4-6

ビデオ撮影・編集・タビング
ホームページ作成 etc
株式会社 トライアート
代表取締役 背野 康英

〒574-0073
大阪府大東市緑が丘1-20-1-409
TEL.072-874-9107
E-mail tryart@ab.auone-net.jp

atelier phos
DESIGN < WORK

http://atelier-phos.com/

賛美の花束 19

力の主を

昨年秋のコンサートのテーマ「御翼の陰に」のもと、プログラムの冒頭に入れたのが、ヨアヒム・ネアンダー(1650-1680)の「力の主を」(讃美歌9番)でした。ネアンダーは、1650年、私の住むハンブルクから、南西100キロほど行ったところにあるブレーメンで生まれました。1650年という、カトリックとプロテスタントの各宗派の対立がきっかけで、ドイツ各地の諸侯の利害が複雑に絡み合って生じた30年戦争(1618～1648年)が終わったばかりの時です。この戦争によって、1800万人だったドイツの人口が700万人に激減しました。そして、それぞれの宗派は独自の教えを絶対化していくようになり、礼拝は、宗教改革以前の教会のように、再び形骸化していきました。真に神を求める人たちは、個人的に神との交わりを求めるようになりました。その中で生まれたのが、1650年頃に起こった「敬虔主義」(ピエティズム)運動です。

ヨアヒム・ネアンダーは、この敬虔主義者であったヴァンデルアイクやシュペナーから大きな影響を受け、信仰が燃え立たせられるようになりました。彼は、24歳でデュッセルドルフの教会付属学校のラテン語教師になりました。しかし、ネアンダーの燃えるような信仰と、学校当局の信仰の温度差によって、彼と学校との折り合いが悪くなりました。その苦悩の中で、「デュッセルの谷」(デュッセルタール、タールは谷。後に、彼の名にちなんで、ネアンデルタールと呼ばれる)によく祈りに行きました。その中で生まれたのが、今でも世界中の教会で歌い継がれている、詩篇103篇のパラフレーズによる「力の主を」(Lobe den Herren)です。私たちは、苦悩の中で神に従うときに、最高に信仰が強められます。それは、金が火を通して精錬されて行くように、私たちも、火の試練を通して、かながすが取り除かれ、主の御姿へと造り変えられて行くからです。

ヨアヒム・ネアンダーは、「力の主を」の歌詞の2番と3番で、神の翼の素晴らしい守りを謳っています。聖書では、神は、信じる者にはご自身の翼を広げてその中で守ってくださると約束し

ておられます。神の翼ですから、その下は絶対に安全な場所です。そして、そこしか完全に安全な場所はありません。

残念ながら、日本語訳には翼という言葉はどこにも出て来ませんので、いつか、私なりに日本語訳を作ることができればと願っています。今回は、皆さんに原詩からの直訳をご紹介します。

LOBE DEN HERREN (力の主を) Joachim Neander

- 主をほめたたえよ、力ある栄光の主を
わがうちにあるたましいよ、このお方をほめたたえよ
豎琴と十弦の琴をもって群れをなして来よ
主への賛美を共にささげようではないか
- 主をほめたたえよ、威厳をもって統べ治められる方を
高貴な御翼の陰に、君を導き入れてくださる方を
そこで守られるとき、
そこそ君が求めていた場所だったと
感じるだろう
- 主をほめたたえよ、巧みな御手をもって
君を素晴らしく創られた方を
君の健康を支え、愛をもって導かれる方を
(思い出してみよ) 君が苦しむ時、憐れみの神が
君の上に翼を広げてくださらなかったことなど
一度たりともなかったはずだ!
- 主をほめたたえよ、わがうちにあるすべてのものの
御名をほめたたえよ
主は君の光、わがたましいよ
主の良くしてくださったことを決して忘れるな
とこしえに主をほめたたえよ! アーメン

教会や少人数グループでの
イスラエルツアーを
計画しませんか。

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。お気軽にご相談ください。

(株)ホーリーランド
ツーリストセンター

担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:htcjrnm@nifty.com

NEWアルバム

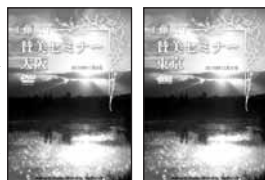
よき力に守られて
VON GUTEN MÄCHTEN
定価2,500円(税込)



賛美セミナー
DVD 2枚組
13年11月4日大阪セミナー録音
定価4,000円(税込)

賛美セミナー
CD 4枚組
13年11月9日東京セミナー録音
定価4,000円(税込)

賛美セミナー DVD、CDも好評発売中!



工藤 篤子 著書&音楽CD 好評発売中

ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで



ほんとうの願い
定価3,000円(税込)



神だけが
定価2,500円(税込)



カンシオン
定価2,500円(税込)



Come To Me
定価3,000円(税込)



賛美のこころ
定価1,600円(税込)



たましいの歌
定価3,000円(税込)



賛美 Adorar
定価1,500円(税込)



鳥のうた
定価2,500円(税込)

Schedule 工藤篤子 2015年 スケジュール

1月20日(火)~28日(水)	イスラエル	7月29日(水)~8月2日(日)	第32回ヨーロッパ・キリスト者の集い (チェコ、プラハ)
3月 7日(土)	日本語で聖書を読む会主催 賛美コンサート (スペイン、マドリッド)	10月25日(日)	宝塚栄光教会 賛美コンサート
4月25日(土)	札幌、賛美セミナー(予定)	10月29日(木)	AKWM主催 チャリティー・コンサート
5月11日(月)~18日(月)	台湾コンサートツアー	11月 1日(日)	在日大韓キリスト大阪北部教会 賛美コンサート
5月23日(土)	折尾クリスチャンチャーチ 賛美コンサート (福岡県、北九州市)	12月 7日(月)	プレイズ・ワークショップ
5月24日(日)	コンサート(場所、時間未定)	12月13日(日)	高槻バプテスト教会 賛美コンサート
5月31日(日)	インマヌエル聖宣神学院教会 賛美コンサート	12月23日(水)	札幌聖書キリスト教会 50周年記念クリスマスコンサート(予定)
6月30日(火)~7月3日(金)	北米ホーリネス夏季修養会		

13th AKWM CHARITY CONCERT

第13回チャリティー・コンサート報告 ミャンマーの子どもの家「希望の家」支援

昨秋10月24日に開催した、ミャンマー、ヤンゴン市の子どもの家「希望の家」支援のチャリティー・コンサートが大きく祝されましたことを、喜びと感謝をもって報告させていただきます。今回のチャリティーは、2011年に完成した「希望の家」の修復工事支援でした。今回のチャリティーを通して、見積もり工事費70万円に対し、何と、その金額を上回る72万円をおささげすることができました。コンサートは、148席の会場に159人の方々がお集りくださり、補助椅子を出すほどでした。このように、献金額も会場も、主が溢れさせてくださいました。また、ピアニストの野田常喜さんの他、「祝福の泉」では、大西悦子さん(ソプラノ)、妹尾始子さん(アルト)、橘直己さん(テノール、司会)が共に声を合わせてくださり、主の祝福が溢れて、演奏する者も、聞く皆さんもひとつとされたような、素晴らしいひと時を持つことができました。以下に、希望の家の責任者Kさんからのお礼状をご紹介します。



コンサートのお礼と感謝

主の御名によって、ミンガラバ(こんにちは)! チャリティー・コンサートがとても祝福されたことを聞き、主をあがめ、感謝しています。孤児や貧しい家庭の子どもたちの「希望の家」の家屋を修繕するためにコンサートを開いて、賛美してくださった工藤篤子さん、ピアニストの野田常喜さんに、格別にご感謝申し上げます。ご奉仕くださり、献金をしてくださり、また私たちが作った様々なグッズを買ってご協力くださった、主にあって敬愛するすべての兄姉の皆様へ、真心からお礼と感謝を申し上げます。工事箇所は、雨漏りする屋根、地下水を汲み上げて貯める水タンク設備、洗濯物が雨に濡れないように2階の庇を延長、木製窓をガラス窓に取り替える等です。これからの修繕のために必要な経費をすべて備えていただいと伺いました。感謝で一杯です。希望の家のために祈ってくださっている皆様へ心から感謝を申し上げます。希望の家では、子どもも私たち大人も、日本の国と人々を覚えて、お祈りしております。皆様のご健康と祝福をお祈りいたします。

感謝を込めて 「希望の家」責任者K



工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号
VIP関西センター5F
TEL.06-6226-1334 FAX.06-6226-1336

口座が新しくなりました

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 瓦町支店 (店番003)
普通預金 0133752 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」

*三菱東京UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

✉ メールマガジン登録受付中!

akmm@atsukokudomm.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。

Japanese HP <http://atsukokudomm.com>

English HP <http://www.fgec.de/atsuko>